

RC 構造のリフォーム現場での 3F リビングボードの製作について

今回は設置場所が 3F で RC 構造のリフォーム現場です。一番の懸念事項は搬入する方法です。

また、ダイニングテーブルのウォールナット無垢 1 枚板 100kg の取付けもあり、一度に搬入するものとして、なにで吊り上げるか検討しました。(内階段は狭く、箱物の荷揚げはかなり時間が要する。)

1. ユニッククレーン等では上に電線があり吊り上げに無理があります。また、脇道は通行止めが必要となり、困難。
2. 梯子を架けて梯子上で家具を引き上げる。これもテーブル天板約 100kg ではちょっと無理です。3F までの梯子が弊社にはなく、さらに最上部での水平に家具を引き込み作業は危険です。
3. 屋根屋さんの荷揚げ機。これですと揚程、吊り荷重 100kg とともに問題なく、設置スペースもコンパクトに対応できる。また、最上部レールが引き込み方向に曲がっているため家具を引き込みやすくなる。

以上、検討した結果、3. 屋根屋さんの荷揚げ機をハウスメーカーさんに設置を依頼して、荷揚げ機の組立およびオペレーターとして屋根職人さんに立ち会ってもらおうこととなりました。



左画像の状況で家具を荷揚げすることになりました。

それでも、最上部での家具引き込みには 4 人必要でした。

但し、100kg テーブル天板の時は 6 人程必要でした。

家具取付け位置

3F 家具引き込み部状況。

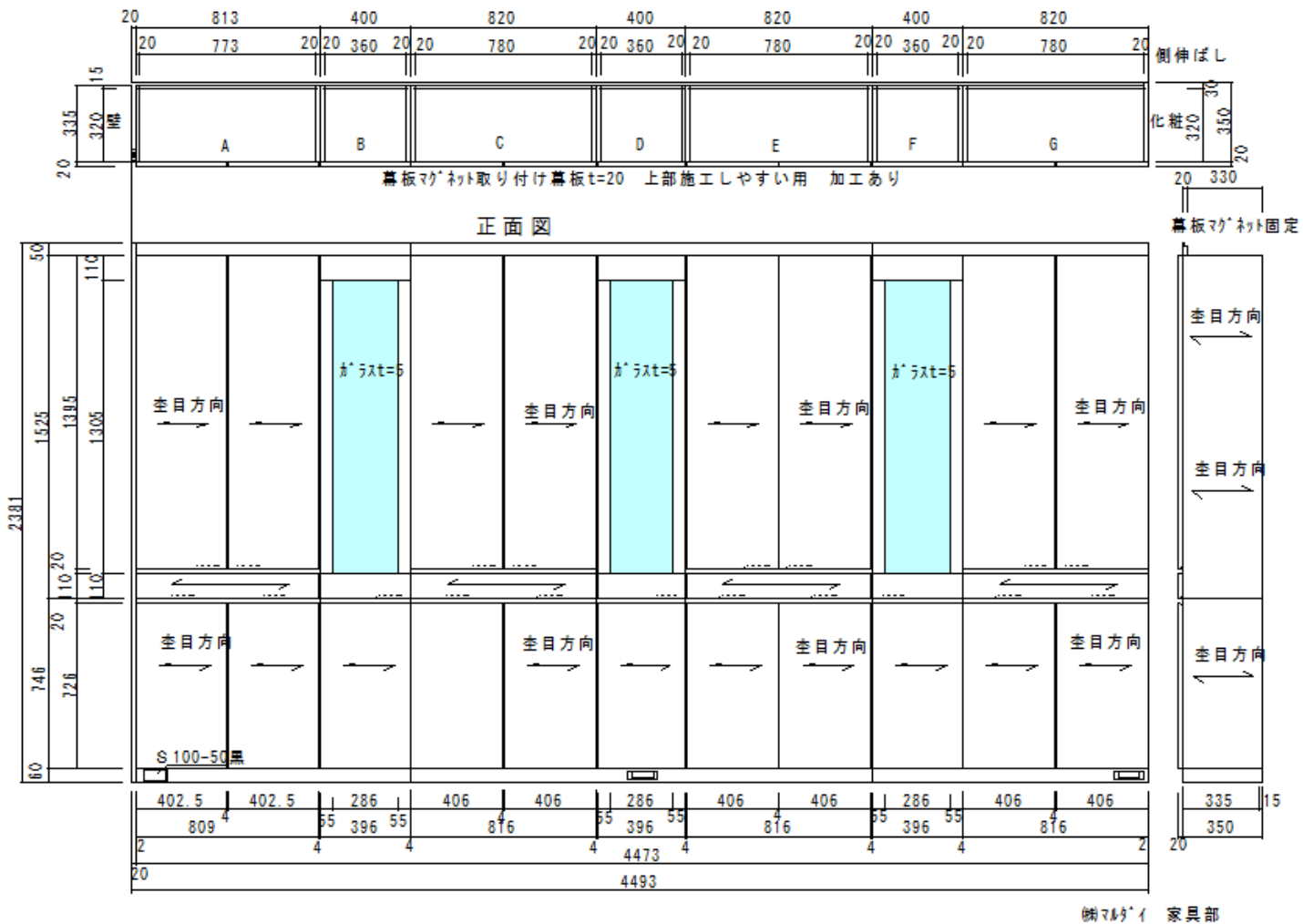




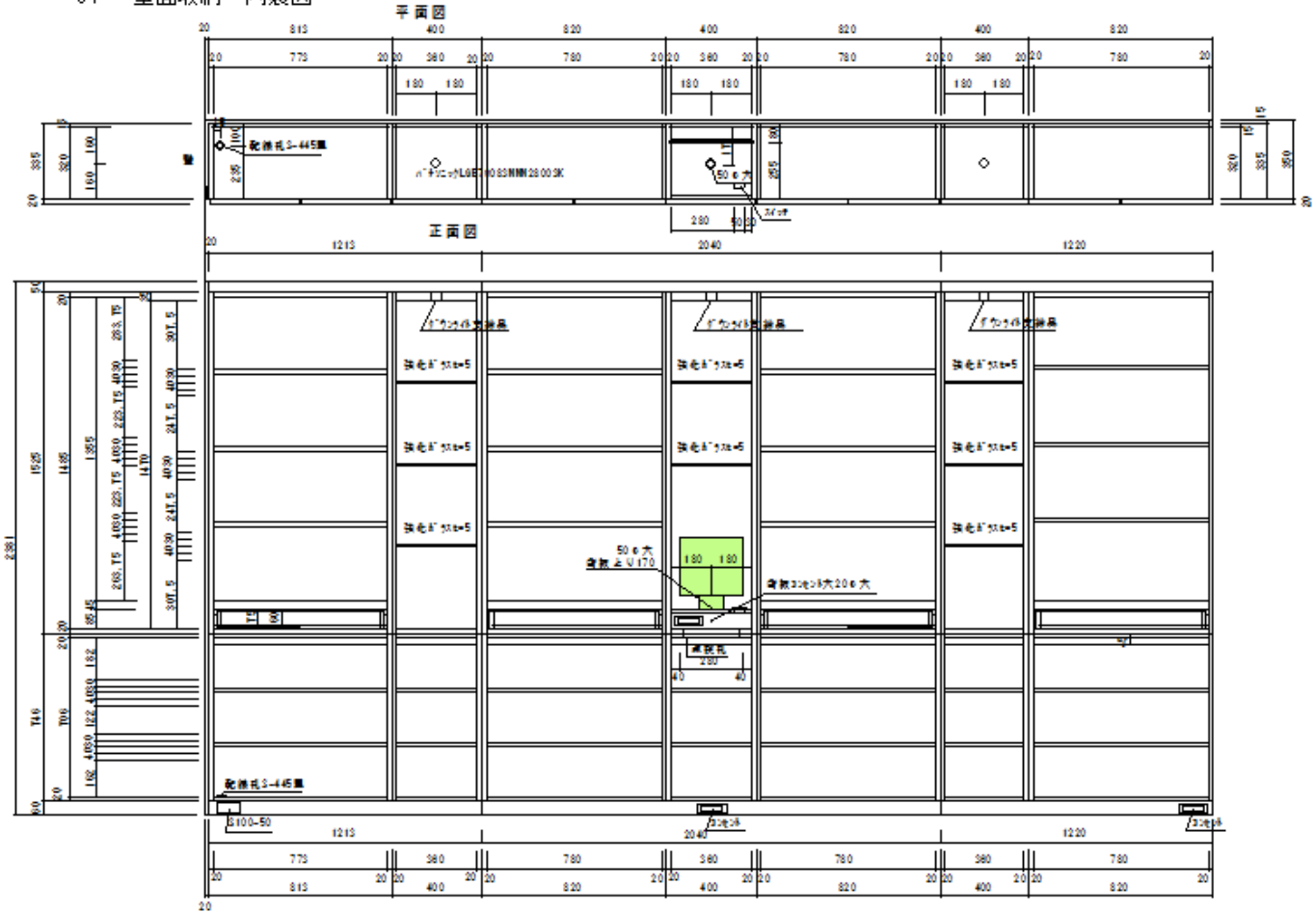
RC 壁への家具の取付け留意点

1. 壁の出入りの差が 15mm あり。右化粧側板を 15mm 伸ばしました。
2. 台輪を床板目地と平行にセットし、床に固定。
3. 電源コード、スピーカー線ダウンライト照明線等を組みながら配線する。
4. 下台で通り立ちを確認して、RC 壁にコンクリート用接着剤で木片を固定し、さらに木片に家具をビス固定します。
5. 上台も同様に固定し、全て取り付けした後、天井から家具をさらに固定します。

3F 壁面収納 平面図

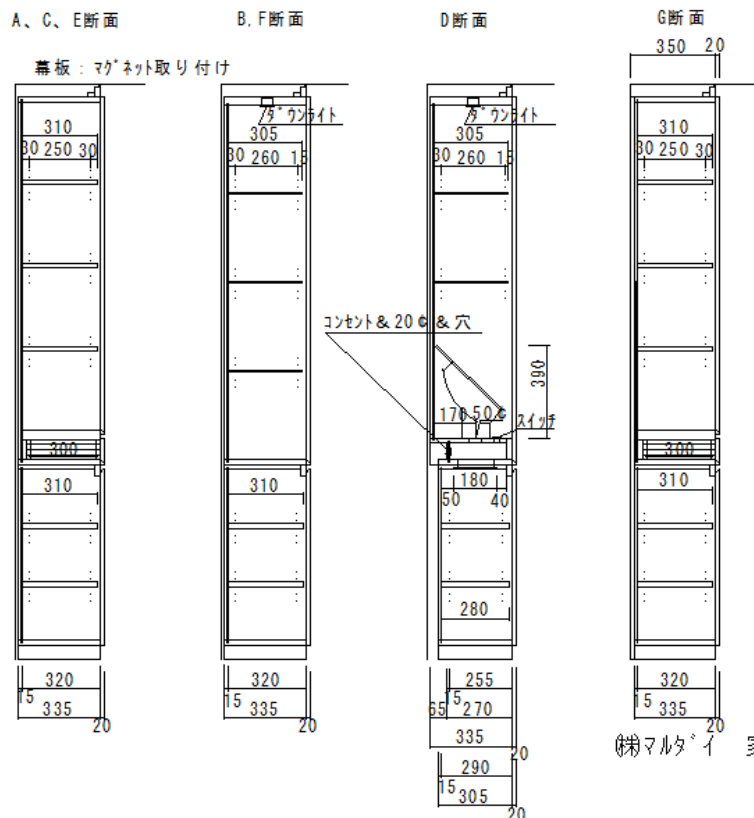


3F 壁面収納 内装図



株式会社 家具部

断面図



仕様
 外装、扉: アルミ突板
 ガラス扉内部: アルミ突板
 板戸、引出内装: ホリ5414
 台輪コンセント: 3か所 KAG2500(支給)
 C型内部コンセント: 未定
 スレこみ穴処理: 未定
 タウライト: パナソニック電工LGB70083
 NNN28003K(支給)
 幕板: タウライト点検の為、脱着式
 塗装: ウルトラ着色、サンパル通り
 ガラス棚受け: 未定

株式会社 家具部



箱のみ取付け完了。天井より固定する。



オーディオコントロールパネルのセット
ダウンライトの入切スイッチ有り。



ここにオーディオコントロールパネルが収納されています。



オーディオコントロールパネル下の配線口。



約 W4500 の収納の出来上がりです。



このリビングボードはガラス扉の下枠を引出の前板と同じ高さにこだわりました。ガラス建具は本来の吊り方で考えれば縦枠優先のところを今回は横枠優先として突き板も横貼り、引出のラインにこだわってシンプルに仕上がっています。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木
平成 23 年 10 月 17 日